



ヨモギ(前網)の代替地点での採取について

平成28年11月18日

東北電力株式会社

1. 代替地点での採取



- 植生の変化によりヨモギ(前網)の採取が年々困難になっており, 昨年度は発電所構内の東防波堤付近を代替地点とし, ヨモギを採取した。
- 今年度は, ヨモギが成長する5月から8月にかけて前網地域のヨモギの生育状況を調査したが, 昨年度に続きヨモギの群生(測定に必要な量約15kgが纏まって生えている場所)を確認できなかった。
- このため, 調査範囲を拡大し, 発電所から約2 km圏内(前網と同距離)を調査した結果, 塚浜および小屋取では群生が確認できず, 唯一, 飯子浜でのみ群生を確認できた。
- 本状況について, 宮城県環境放射線監視センターと相談し, 飯子浜でヨモギを採取した。

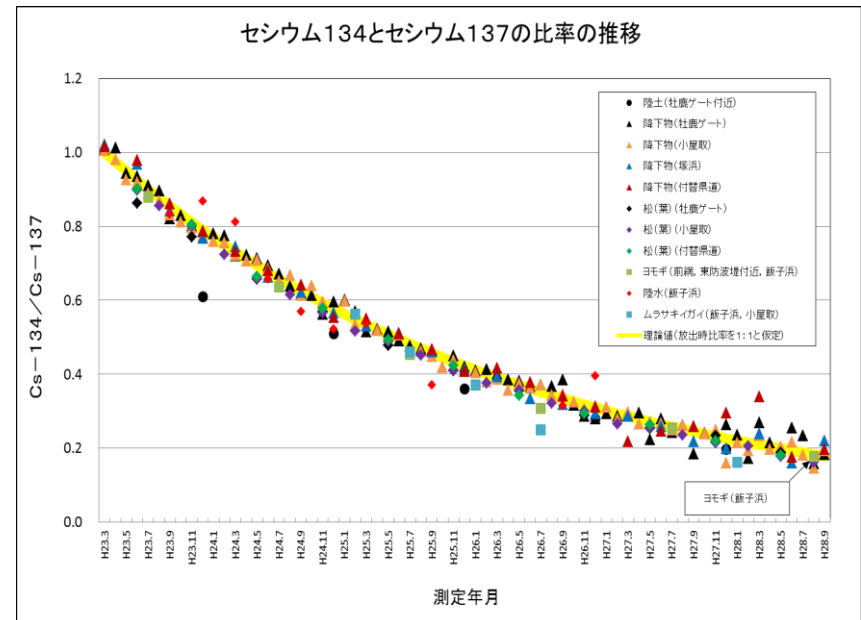
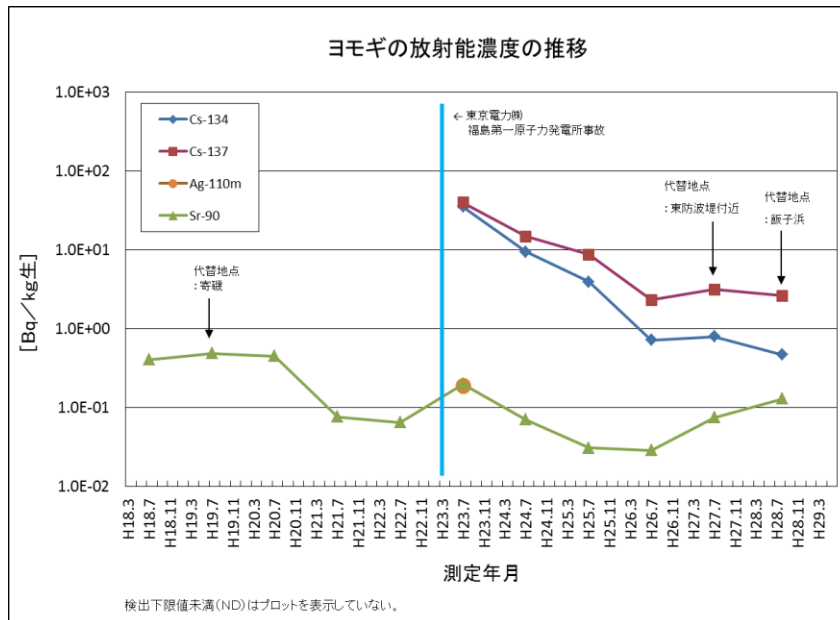
2. 生育状況の確認結果

確認日：平成28年5月18日
確認場所：前網



3. 代替地点の測定結果

セシウム134とセシウム137の放射能濃度がほぼ横ばいとなっているが、セシウムの比率が他試料と同程度であることから、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響と考える。





4. まとめ

1. 平成10年度に測定基本計画の改正が行われ、ヨモギの採取頻度が削減されている。
2. 前網については、従来の5試料／年（県：3，電力：2）から1試料／年（県：0，電力：1）に削減されたものの、植生の変化によりヨモギの採取が年々困難になっており、2年（平成27，28年度）続けて代替地点で採取している。
3. 今後、採取地点もしくは採取試料の変更等（試料数を減らさない方向）について検討を進める。